

希望が丘東地区



希望が丘東地区は、希望が丘駅北側一帯の、総じて南斜面の丘陵地を中心とした地区ですが、何本かの谷戸筋が入り、地形の構成は複雑です。戸建て住宅を中心に、集合住宅が散在しています。

人口は、この5年で1.6%増で、年齢構成としては、区平均に比べファミリー層の占める割合が多い地区です。

■めざす地区の姿

「みんなで築く生き生き活力ある街」

子どもから高齢者まで、いつでもみんなが「助けあい」「支えあい」「見守り」「ふれあい」、いつまでも安全に、安心して暮らせる地域

■目標A

連動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ

支援が必要な人に対する共助の推進

■具体的な取組

○6つの自治会・町内会館を会場に高齢者向けサロンの開催

地区社会福祉協議会、老人会の友愛活動員、民生委員児童委員をスタッフとして、コーヒー隊、マジック、ハワイアンバンドなどボランティアの協力を得て、6つの自治会・町内会館を会場に茶菓子、コーヒー等を用意し、地域の高齢者に憩いとおしゃべりの場を提供します。



○子育て世帯を対象とした親子サロン、赤ちゃん教室、リトミック、幼児向け救急救命講座の開催

民生委員を中心としたボランティアが、赤ちゃん教室を春ノ木会館、中尾町会館で月1回、親子サロンを今宿地域ケアプラザで月1回実施します。

地区社協を中心に、リトミックを今宿地域ケアプラザで、春4回、秋4回実施します。

今宿地域ケアプラザ・地区社会福祉協議会共催で幼児向け救急救命講座を年1回実施します。



○一人暮らし高齢者・高齢者世帯を対象とした生活支援ボランティアの立ち上げ

地区社会福祉協議会を中心に一人暮らしの高齢者等を支援（主に掃除、買い物、庭木の剪定、簡単な大工仕事、電球・蛍光灯交換などの生活支援）するボランティアを立ち上げ、生活支援を実施します。

○障がい者への理解と支援ボランティアの募集

地区社会福祉協議会を中心に障がい者への理解を深めるための研修や障がい者とその家族等を支援するボランティア募集の準備を進めます。

■目標B

日頃から顔の見える関係作り

■具体的な取組

○地域住民みんなが参加する夏祭りの実施

連合自治会を中心として、中学生のブラスバンド、有志による太鼓の演奏、子供みこし、阿波踊り、盆踊りや、各種団体等が運営する模擬店など地域交流を推進するため、夏祭りを実施します。



○下校時一斉パトロール、登下校時見守り活動

連合自治会を中心に民生委員児童委員、子ども会、老人会の協力を得て、小学校の下校時パトロールを年4回実施します。

老人会、自治会・町内会ごとに適宜見守り活動を実施します。



○認知症講座等の講演会や研修会の実施

地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、保健活動推進委員会、消費生活推進委員会等がそれぞれ地域見守りのための講演会や研修会を実施します。

■目標C

平時から地域で助け合う関係作り

■具体的な取組

○災害時要援護者調査の実施

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会の3者でアンケートを作成し、自治会・町内会でアンケート調査を実施します。

要援護者に対し安全カードに記入した用紙を入れる透明スクリュウボトル、LED 懐中電灯等を配布します。

○自治会・町内会ごとの防災組織作りの推進

平成25年度に作成した「減災対策および災害時要援護者支援の手引き」を活用して、それぞれの自治会・町内会にあった組織づくりをサポートします。

○防災訓練時に要援護者に対する安否確認の実施

災害時を想定して実施する防災拠点の防災訓練時に、要援護者に対し安否確認を行います。

○防災訓練の実施

連合自治会主催で、災害時に地域が支えあうための防災訓練を行います。

■目標D

小中学生が地域行事に参加、福祉体験できる機会の拡大

■具体的な取組

○中学生ボランティアの地域清掃、夏祭り、防災拠点防災訓練、ふれあい広場等への参加

連合自治会が企画、運営をする地域清掃は、厚木街道など地区内の主な街道を中学生ボランティア、連合自治会、各種団体のメンバーが協力して清掃活動を行います。

生活道路は自治会・町内会ごとに地域住民が小学生と一緒に清掃活動を行います。

夏祭り、ふれあい広場において、中学生ボランティアを募集し、多くの中学生が参加することで地域交流を深めます。

防災拠点での防災訓練時に中学生ボランティアが参加することで、地区内での防災施設に対する理解を深めます。



○小学生によるジュニアボランティア活動への支援

小学校6年生によるジュニアボランティアが、

- ・老人ホーム等を訪問、高齢者昼食会でボランティア活動を体験します。
- ・サマーフェスタやふれあい広場では、焼きそば、たこ焼き、チョコバナナなどを販売協力します。
- ・赤い羽根共同募金に参加します。

以上の取組を民生委員児童委員の協力により実施します。



■目標E

地域の取組みを支える仕組みづくり

■具体的な取組

○世代間交流を目的としたふれあい広場の開催

地区社会福祉協議会を中心に世代間交流を目的として、自治会・町内会、連合自治会、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、保健活動推進員、消費生活推進員等の協力を得て福祉バザー、模擬店、健康チェック、餅つきや伝承遊び等を行う、ふれあい広場を東希望が丘小学校で11月末に実施します。



希望が丘駅前の食品スーパーの入口、出口に高齢者が休憩できる長いすを3脚設置しました

「駅前のスーパーでの買い物の後、ひと休みできる椅子が欲しい」という高齢者の声から「希望ヶ丘東地区高齢者をみんなで支えるまちづくり検討会」のメンバーが駅前スーパーに椅子を設置しました。

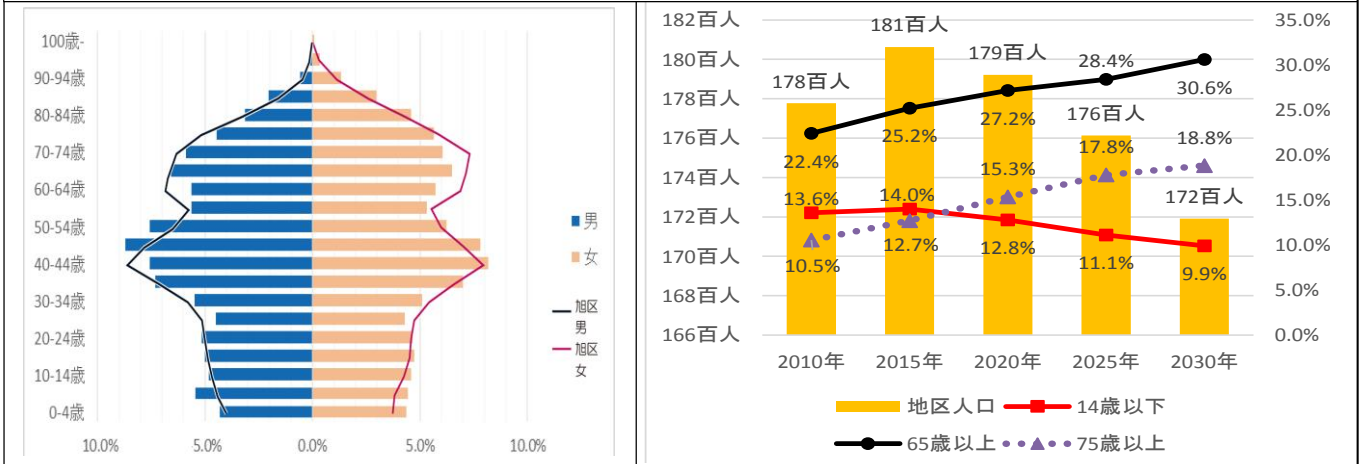
買い物が済んだ高齢者が買い物カートを椅子の横に置き、一息つくなど大変喜ばれています。



■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ団塊世代の層の比率は低く、男性は 45 歳から 54 歳、女性は 40 歳から 54 歳の層の比率が高くなっています。また、10 歳以下の層の比率も高くなっています。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 300 人増加しています。高齢化率は約 2.8% 増加したが旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの 5 年間で約 170 戸増加しているが、世帯人員は 2.3 人/戸から 2.29 人/戸と、ほぼ変動がありませんでした。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年で約 17900 人、2025 年で約 17600 人と見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 27.2%、2025 年で約 28.4%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



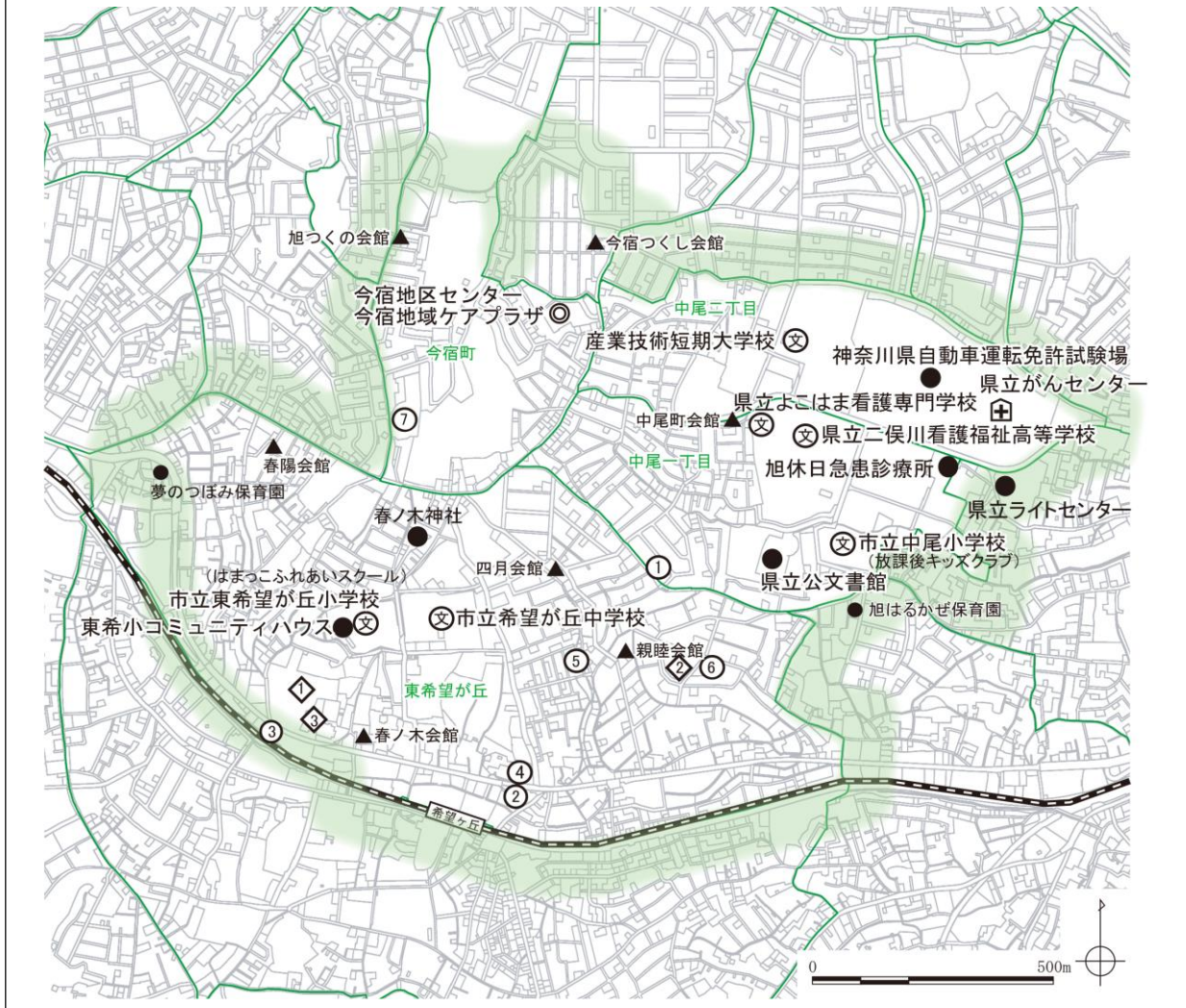
■2期計画の振り返り

- ・ 連合自治会、地区社会福祉協議会を中心に各種団体、自治会・町内会の協力を得て多くの事業を通じて地域交流福祉活動は十分に行えていると感じている。また取組事業への参加者は年々増加傾向にある。
- ・ 未加入町内会「0」への課題は、未加入町内会へアプローチするものの、役員のなり手がいないとの理由で加入に前向きな回答を得られていない。
- ・ 現在のところ各種事業への取組は問題なく出来ているが、メンバーの増員、世代交代は進んでいない。
- ・ 災害時要援護ささえあい事業は8年目を向かえ順調に継続調査を進めており、民生委員を通じて新規の要援護希望者には自身が記入した安全カードを入れる透明スクリーンボトルと小型LED懐中電灯を配布できている。
- ・ 連合自治会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会の3者で協議・作成した「減災対策及び災害時要援護者支援の手引き」を自治会・町内会に配布している。この手引きを参考に一部自治会では防災組織が出来ているが、ほとんどの自治会・町内会ではただいま検討中である。
- ・ 「ささえあい情報マップ」の改訂版は全戸に配布され多くの人々から「便利に利用している」との言葉をいただいている。

■地区の福祉課題

- ・ 高齢者世帯が増える中、近隣住民どうしがいつでも支えあい助け合える仕組みづくり
- ・ 高齢者から幼い子供まで見守りネットワークの地区内の全地域への推進
- ・ 認知症や障がい者等を抱えた家族への理解やサポートシステムの構築
- ・ 自治会・町内会活動、福祉活動に地域の人々が参加しやすい仕組みづくり
- ・ 地域住民の防災意識を向上させる仕組みづくりと自治会・町内会ごとの防災組織づくり
- ・ 地区内での各種活動に対する情報の共有化と情報が的確に伝わる仕組みづくり
- ・ 地区内で連合自治会に加入していない地域の自治会活動への参加推進

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

子ども

認可保育所

- ① 中尾保育園
- ② ヨコハマ旭チャイルドステーション
- ③ つぼみ保育園

横浜保育室

- ④ ザ・チャイルドクラブ希望ヶ丘

放課後児童クラブ

- ⑤ あすなる学童クラブ

幼稚園

- ⑥ 希望ヶ丘幼稚園
- ⑦ つくの幼稚園

高齢者

特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

- ① 中銀ライフケア横浜希望ヶ丘
- ② ライフコミュニケーション希望ヶ丘
- ③ 中銀ケアホテル横浜希望ヶ丘

希望が丘南地区

希望が丘南地区は、区の最南端に位置し、地区内を数本の二俣川支流が東西に流れています。起伏に富んだ南北斜面を繰り返す丘陵地に住宅地が形成され、戸建て住宅地に集合住宅が点在しています。



■めざす地区の姿

「地域のひとのつながいを強くします」

～みんなで作るまち、みんなが参加するまちを目指します～

■目標A

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

防災対策等を通しての日頃から顔の見える関係づくり

■具体的な取組

- 地域の災害時の体制を整えることで、地域づくりを進める。
- 自治会等の防災訓練や各種行事に多くの人に参加してもらい、いざという時の関係づくりを進める。
- 今ある行事や取組（防災訓練等）を見直し、これまで参加しなかった人に関心をもってもらおう。



防災訓練



防災訓練



マイカプセル

■目標B

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

安心して自分らしい生活ができる地域

■具体的な取組

- OSOS ネットワークシステムの仕組みの周知や認知症サポーター養成などを行い、地域での見守りづくりを進める。
- 身近な場所（自治会館・公園・ケアプラザなど）で身体を動かすような取組を進める。
- 障がいのある方が地域で安心して暮らせる取組を進める。



認知症理解講座



元気づくりステーション



障がい児余暇支援事業

■目標C

幅広い活動からの担い手づくり

■具体的な取組

- 地域の担い手として、南希望が丘中学校や近隣高校との連携を進める。
- 趣味の活動から地域活動に参加する人を増やしていく。
- お父さんの集まりの場や地域とのつながりを増やし、男性の地域デビューを進める。



クリーン活動



ちょこっと応援団



男性の料理教室

■目標D

地域で子どもを見守り、子育てしやすいまちづくり

■具体的な取組

- すでにある取組（K・K ネット等）のPRを行い、参加につなげる。
- 公園で元気に安全で遊べるように公園での遊びを教えてくれる人（公園で遊ばせ隊（仮称））を増やす。
- 地域に住む子どもたちを対象に、地域で活動した記録（ボランティア手帳（仮称））を作り、子どもたちの活動を進める。



公園遊び（K・K ネット）



3世代ゲートボール大会



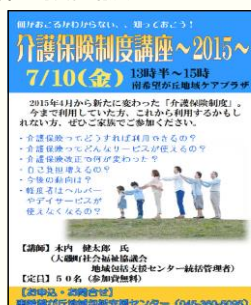
安全ボランティア

■目標E

地域の福祉拠点としての地域ケアプラザとの連携

■具体的な取組

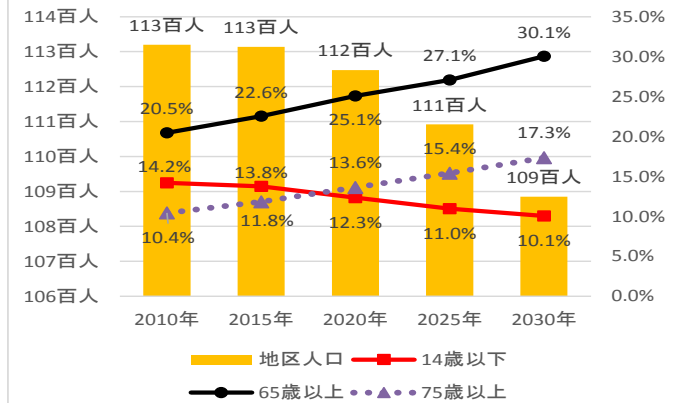
- 地域ケアプラザの活動紹介やリーフレットを配布するなど、地域ケアプラザが福祉に関する相談窓口であることを積極的に周知する。
- 自治会、各種団体等にて、地域包括支援センターの機能や介護保険等の制度や仕組みを周知する講座を開催する。



■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）に比べ65歳以上の層の比率が低くなっています。一方、40歳から54歳の層の比率は高くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間でほぼ横ばいで、高齢化率は約2%増加しましたが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で約100戸増加しています。また、世帯人員は2015年で2.36人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約11200人、2025年で約11100人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約25.1%、2025年で約27.1%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



■2期計画の振り返り

- ・地区社協の主要行事である「バザー」を「ふくし祭り」に模様替えをして、バザーの他に、模擬店、知得コーナー等を追加し、幅広い世代間の多くの来場者を得て、楽しいふれあいの場となった。
- ・自治会、小中学校、各種団体の連携・協力のもと、「地域の人をつなぐを強くします」という目標を達成できた。
- ・自転車教室は、2回で終了したが、特に新1年生については、学校の教科の一環として歩行訓練の時に、自転車走行時の運転注意事項を併せて行う事になった。

■地区の福祉課題

《地域参加・自治会》

- ・お祭りや運動会などの行事の参加者が同じ方ばかり。誘って参加してもらえるような取組が必要。

《災害・要援護者》

- ・一時避難場所など災害時の対応も知られていない。
- ・災害に備えた取組、特に高齢者や障がい者に対して取組が必要。
- ・自治会役員や老人クラブの友愛活動員などの協力が必要。重要な部分は民生委員が対応。
- ・個人情報保護の問題もあるが、ひとり暮らしなどわかる情報は発信して見守りが進むと良い。

《健康づくり》

- ・元気なうちから、健康づくり、仲間づくり、介護予防を楽しく行う。
- ・健康寿命をのばすため、健康に関することを取り入れ、介護予防を推進する。
- ・自治会加入者が多い地域でも、今は大丈夫だが、早いうちから仲間づくりを行う。

《社会的弱者》

- ・制度の谷間の方や制度を受けられない人へのサポートが必要。

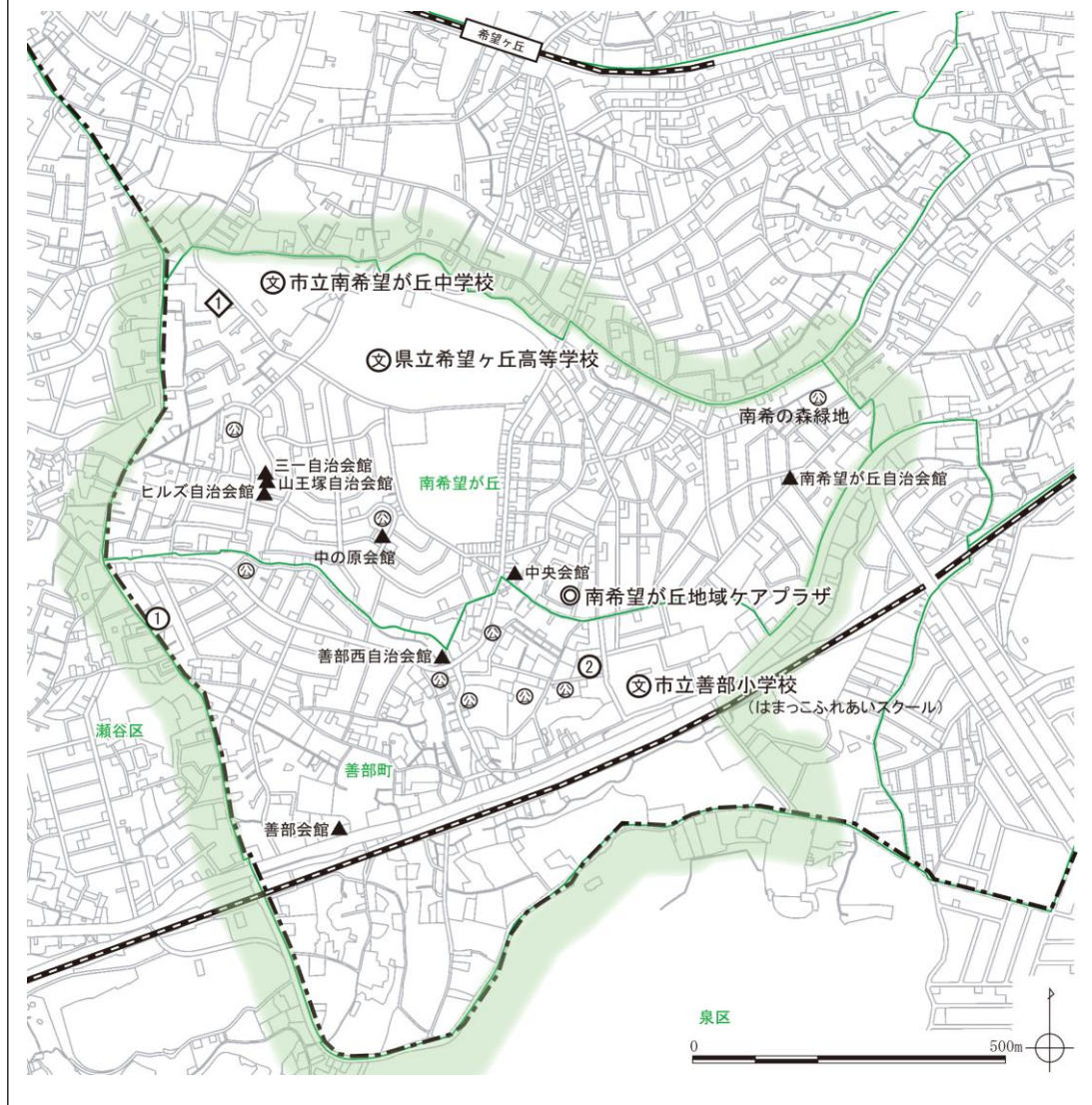
《子育て》

- ・子ども達を地域で育てていかなければ、支える側が不在になる。
- ・K・Kネットなど、すでにある取組が必要とする人に充分知られていない。
- ・公園で遊ぶ子どもが少ない。 ・この地域でいつまでも暮らしてもらえるような取組が必要。

《担い手・サポート体制》

- ・子ども会、PTAの役割が多く手がまわらない。役員活動の見直しも行っている。
- ・登下校での見守りもあり、地域や学校の行事など参加の機会もある。どう参加者を募るかが課題。
- ・退職後の男性が地域とつながっていない。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

認可保育所

子ども

- ① 善部保育園

放課後児童クラブ

- ② レインボークラブ

高齢者

特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

- ① ベストライフ希望が丘

さちが丘地区



さちが丘地区は、区の南部に位置し、相鉄線の3駅に囲まれた区域で、二俣川が3筋に分かれるあたりの低地と丘陵地からなる地区です。幹線道路や鉄道が区域を横断しています。

人口は増加傾向にあり、年齢構成は55歳未満の比率が区の平均より大幅に高くなっています。団塊の世代の特出は見られません。

■めざす地区の姿

誰もが安心して豊かに暮らしていけるまち

- ・子ども、高齢者、障害者が交流し、地域が一体となった活動ができている
- ・行事を通して担い手が増えて、顔の見える関係ができている

■目標A

連動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ 3 地域の取組で元気力アップ

地域の担い手を増やそう

■具体的な取組

- 身近な公園や町内会館等を利用して、特技や能力を活かせる場をつくろう
【地区社協、老人会、自治会町内会】
- 行事の際に地域活動・地区社協をPRする機会（ブース設置、チラシ配布等）を設け、活動を知って参加してもらえるような仕組みをつくろう
【地区社協、自治会町内会】
- 他地区の成功事例を見学し、学習する場をつくろう
【地区社協】



子育てサロン「笑顔」



イベントで地区社協PR



地区社協での勉強会

■目標B

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

高齢者が生きがいを持とう

■具体的な取組

- 地区社協によるバックアップにより、お茶飲みサロンの充実を図ろう
【地区社協、老人会】
- 身近な公園や町内会館を有効活用して心や体が楽しくなる健康づくりプログラムができるようにしましょう
【保健活動推進員、老人会、地区社協、婦人会】



お茶のみサロン「元気」



小学校体育館で敬老祝賀会



連合大運動会

■目標C

地域で子育てを応援しよう

■具体的な取組

○子育てに悩む親が孤立しないように子育てサロンを継続・拡充しよう

【地区社協、保健活動推進員】

○さちが丘に住んだ子どもが地域に愛着と誇りを持てるような行事・活動をしよう

【自治会町内会、子ども会、地区社協】



子育てサロン「笑顔」



地域の防災訓練のひとコマ



連合盆踊り大会

■目標D

安心・安全なまちをつくろう

■具体的な取組

○弱者を救済する仕組みをつくろう

(災害時要援護者等への対応等) 【自治会町内会、民生委員・児童委員】

○お互いの声掛け等、隣近所の見守りを強化しよう 【自治会町内会、民生委員・児童委員】

○「安心カード」の有効活用 【自治会町内会、地区社協、民生委員・児童委員】



連合防災訓練の救助訓練



赤い羽根共同募金

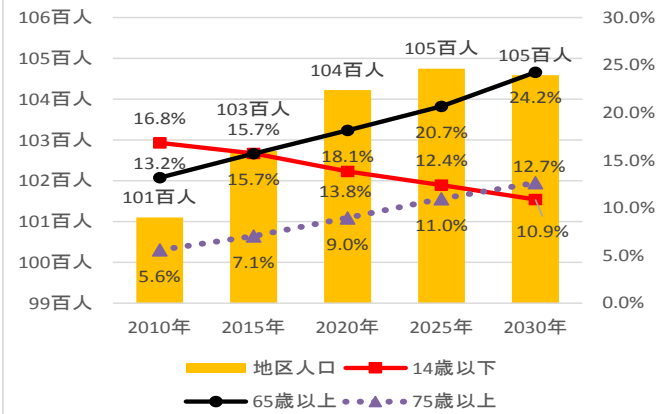
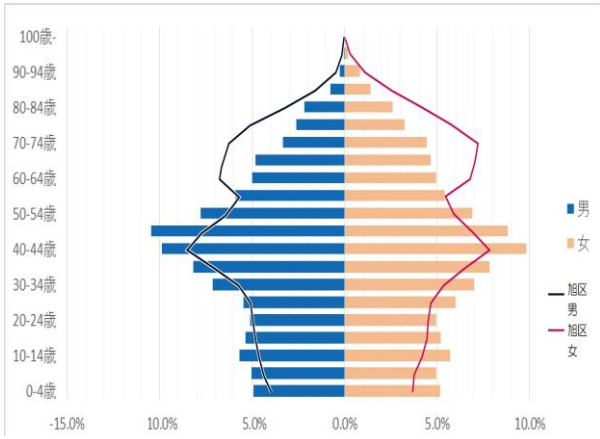


ふれあい福祉まつり

■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ 30 歳から 54 歳の生産年齢層の比率がかなり高くなっています。また、14 歳以下の層の占める比率も高くなっている一方、団塊世代の特出は全く見られません。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 200 人増加しています。高齢化率は 15.7% で旭区平均より 10% 以上低くなっています。
- ・世帯数はこの 5 年間で約 130 戸増加しています。また、世帯人員は 2015 年で 2.33 人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年で約 10400 人、2025 年で約 10500 人と増加しつづけると見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 18.1%、2025 年で約 20.7% になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

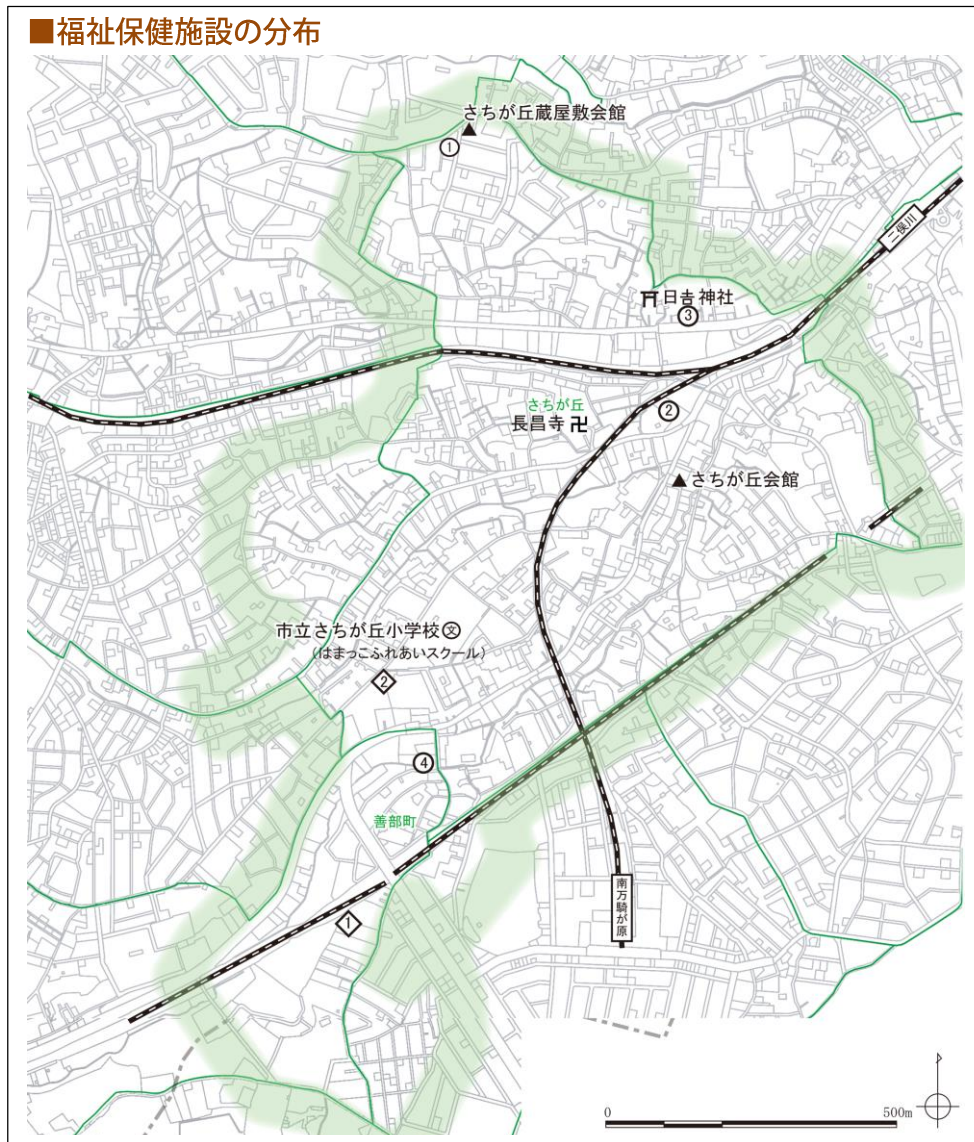


■ 2期計画の振り返り

- ・自治会の事情により、統一的な活動計画が実施できない。
- ・担い手（後継者）の育成が難しい。
- ・行事参加者をもっと増やす必要がある。PR等の工夫が必要。
- ・高齢化に合わせた行事を工夫する必要がある。
- ・老人会新規加入者及び行事参加者が減り、廃止という声も上がった。
- ・独居高齢者見守り、地域の担い手・後継者育成は各自治会の実情の違いから、統一した対応ができていない。
- ・災害時支援体制が整っていない。今後日頃の見守りや信頼関係が必要。
- ・イベント等はできるが、地道な日常活動を支えるサポーターが育っていない。

■地区の福祉課題

- ・団塊の世代、元気な高齢者に自治会・社協活動に参加してもらう必要がある。
- ・健康で長生きを実現するための仕組みをどう作るか。
- ・高齢化社会における「情報提供」「共助」体制（日常、災害時）の構築。
- ・地理的に活動場所が遠いのは高齢者の参加意欲に大きな影響がある。
- ・安心カードの充実、防災マニュアルの整備。



■施設リスト

子ども

認可保育所

- ① 旭はるかぜ保育園
- ② 太陽の子さちが丘保育園

横浜保育室

- ③ マミー保育センター二俣川

幼稚園

- ④ 横浜三輪幼稚園

高齢者

小規模多機能居宅介護

- ① ミモザ横濱南万騎が原

特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

- ② サニーライフ南万騎が原

万騎が原地区

万騎が原地区は、帷子川の支流である二俣川の南側丘陵地を、昭和30年～40年代にかけて開発された、戸建て住宅を主体とした住宅地です。

この5年間で人口、世帯数共に減少傾向にあり、人口構成をみると、高齢化が進んでいます。15歳から24歳、50歳から59歳、女性75歳以上の比率が高く、3世代同居家族が比較的多くみられる地区です。



■めざす地区の姿

・高齢者がいつまでもはつらつと暮らせるまち

・子どもの健やかな育ちと思いやりの心を育むまち

・住民一人ひとりが輝けるまち

■目標A

連動する区計画の柱 3 地域の取組で元気力アップ

高齢者の居場所・活躍の場づくり

- ラジオ体操、ウォーキング、シニアスポーツ等の機会を通じて健康増進を図り、仲間づくりにつなげる
- 新しい趣味をもてる機会をつくったり、特技などを地域活動の場面で、活用できる機会づくりをすすめる
- 参加しやすい行事を開催し、閉じこもりや孤立を防ぐ

【(連合)自治会、地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブを中心に】



裁縫ボランティア



敬老祝賀会でのコーラス発表



春のウォーキング

■目標B

地域のつながりづくりをすすめる

- 多世代が参加できるイベントを開催し住民同士のつながりをつくる
- 世代を超えての声掛けや近隣あいさつにより、お互いに知り合う関係をつくる
- 防犯・防災に強い地域をつくる
- 安心カード等による緊急連絡先の把握等により、平常時から支援の連携をつよめる
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、家庭防災員、消費生活推進員を中心に】



芋煮フェスタ



地域の情報を発信



ふれあい運動会

■目標C

思いやりの心を育む地域をつくる

- 認知症の正しい理解者、認知症サポーターを増やし、地域で見守りの目を増やし支えていく
- 地域と学校が連携し、住民の様々な能力・経験を活かしながら、福祉教育を進める
- 地域行事の手伝い体験の機会拡大、ジュニアボランティア体験事業の拡充や、学齢期の担い手を育成する
- 障害福祉施設等との連携を図り、活動への協力や地域の行事への参加を呼び掛ける
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、子ども会、障害者施設を中心に】



ジュニアボランティア@敬老祝賀会



芋煮フェスタハザーのお手伝い



万騎が原小学校50周年

■目標D

子どもにやさしいまちづくりをすすめる

- 自治会回覧、地域の子育てカレンダー等で、子育て関連の情報の発信をおこない、親子同士が出会う機会を増やす
- 公園等の場を活用し、多世代の交流の機会をつくり、地域で子どもを育てる意識を広める
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、赤ちゃん訪問員を中心に】



子育てひろば
「あいうえお〜！」



昔あそび@保育園

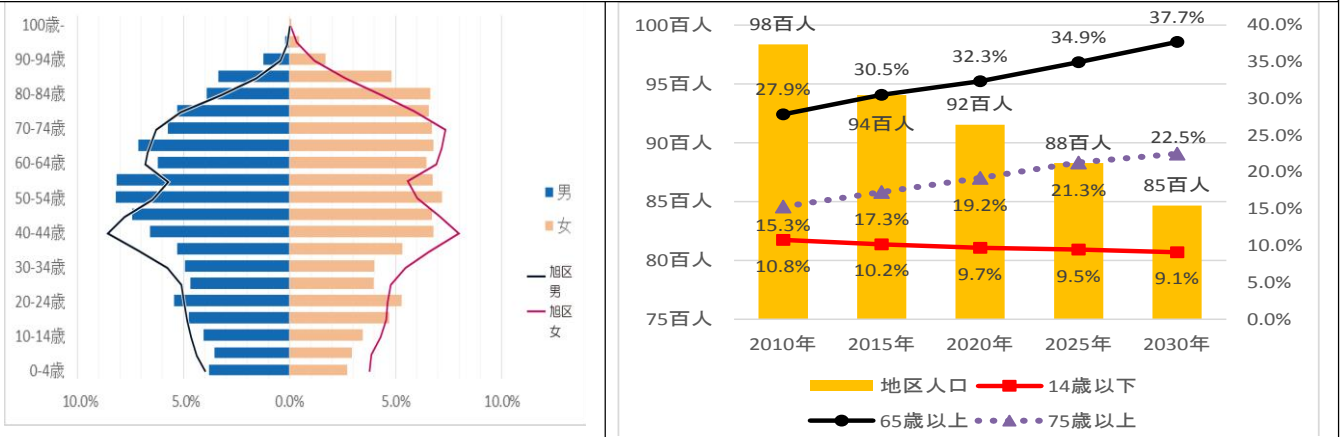


消費生活推進員による
啓発講座

■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）に比べ、50歳から59歳、および女性75歳以上の層の比率が高くなっている一方、25歳から44歳までの層の比率が低くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間で約400人減少しています。高齢化率は2%以上増加し、旭区平均より高くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で約40戸減少しています。また、世帯人員は2015年で2.21人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約9200人、2025年で約8800人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約32.3%、2025年で約34.9%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



■2期計画の振り返り

ウォーキング&お汁粉大会

担い手ボランティア、参加者ともに増え、行事企画において「参加したい」と思える魅力を持った企画の大切さを感じた。健康づくりや地域を知ることなど住民相互の交流の機会として継続する。

あんしんサポート手帳の発行&地区内団体台帳作成

一定の情報共有の元で会話をすることが可能になり、地区に対するあらたな認識を共有することも可能になりつつある。主体的な情報発信力が弱く、情報のメンテナンスが円滑ではない。

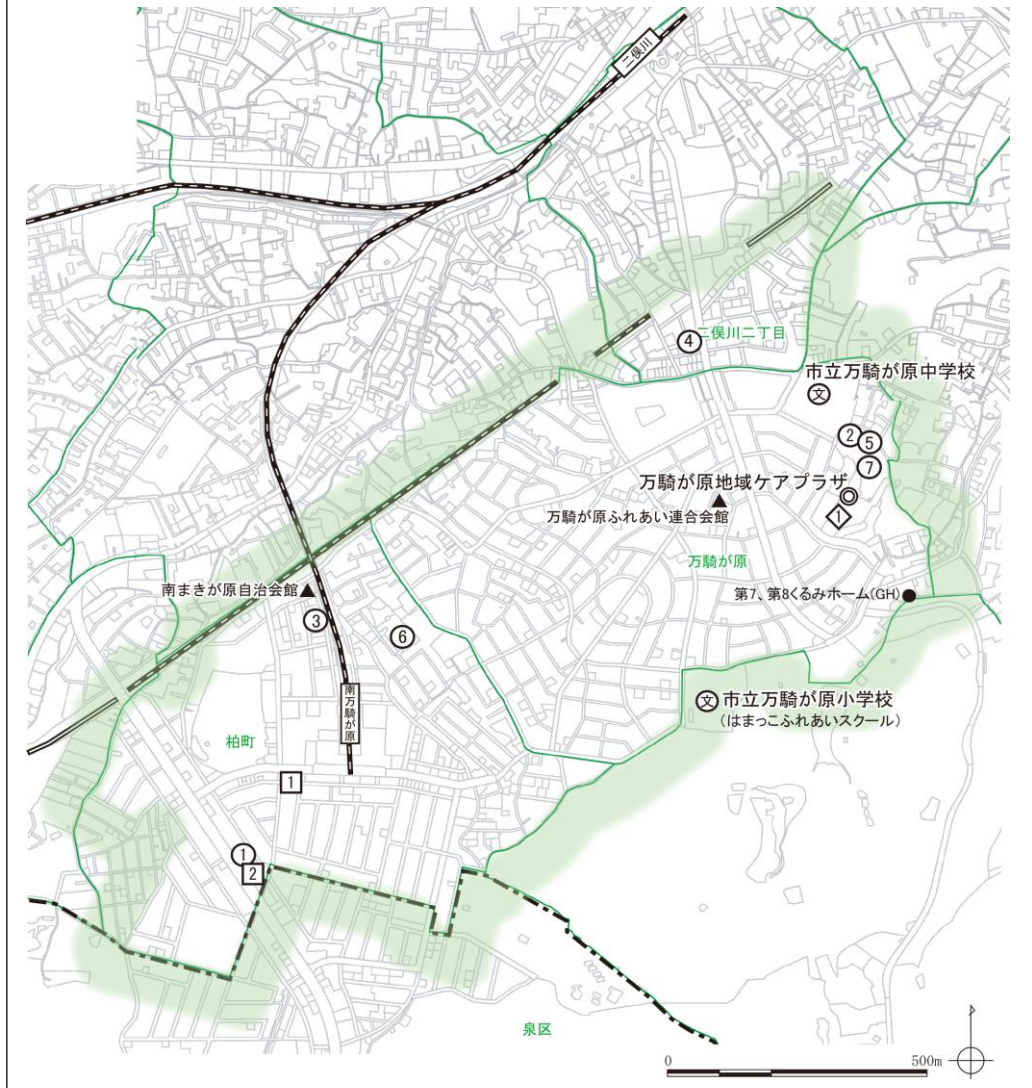
見守り活動推進事業

老人クラブ会員相互の関係を生かした見守り、老人クラブ非会員を意識した民生委員の見守り、また、相互の日常的な交流の場としての「たまり場・サロン」活動の多様なあり方について、研修会などを通して、認識を深められた。

■地区の福祉課題

- 1 認知症の人は、自ら支援を求めることが難しいため、地域における認知症の理解と、見守りや支援が充実するとよい。
- 2 単身世帯が増え、遠方に住んでいる家族との連携がとり難く、一人暮らしの方の緊急時の対応に苦慮している。地域の情報を適切に発信し、地域の中で見守りのネットワークをひろげていく。
- 3 介護予防、転倒予防、ラジオ体操など健康増進に心がけ、地域全体で健康に向けた取組みを継続する必要がある。参加者がいつも同じ傾向があり、新たな参加者を増やす工夫が必要。
- 4 老人クラブへの参加を増やしたり、地域の居場所を増やすことで、地域の顔の見える関係づくりを広げ、地域でみんなが活躍できる場づくり。
- 5 高齢者の個人差は大きい。高齢者個々の尊重、認知症の適切な対応など、子どものころから地域での福祉教育が必要。一方、高齢者からも経験や特技を生かした関わりができないか。
- 6 公園の規制などにより子どもが自由に遊べる場が少なくなっている。地域で子どもを育てる意識を持つ工夫ができないか。
- 7 保育園の園庭開放や子育て支援情報など、必要な人に必要な情報がもっと届くように。
- 8 現在あるジュニアボランティアを中学生・高校生にまで延長するなど、ボランティア活動経験者を増やす取組ができないか。
- 9 障害福祉施設のパンの製造・販売がおこなわれているが、地域住民となお一層、幅広く繋がることできないか。
- 10 ボランティアとして地域で活躍できる場の開拓と、ボランティアの養成。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

- 子ども**
- 認可保育所**
- ① 横浜市立柏保育園
 - ② まきが原愛児園
 - ③ のぞみ保育園
- 横浜保育室**
- ④ 夢未来二俣川園
- 放課後児童クラブ**
- ⑤ フレンドクラブ
- 幼稚園**
- ⑥ 柏幼稚園
 - ⑦ まきが原幼稚園

- 障害者**
- 就労支援センター**
- ① 横浜西部就労支援センター
- 障害者地域活動ホーム(地域作業所)**
- ② 連(れん)

- 高齢者**
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)**
- ① グリンサイド清盛

二俣川地区



二俣川地区は、二俣川駅周辺の相鉄本線と厚木街道を軸とする地区で、二俣川駅、保土ヶ谷バイパス本村ICがあり、交通の要衝です。また、区や県の公共施設や商業施設が集積しています。

人口構成をみると、25歳から54歳の生産人口が多く、高齢化の進行は比較的緩やかになっています。

■めざす地区の姿

- 地域の活動団体に新しい担い手が加わり、既存の活動が活発に行われている。
- 二俣川地域ケアプラザ(仮称)を利用した地域の活動が行われている。
- 地区内の地域防災拠点の連携や要援護者支援の取組が進み、災害時の体制が確立されている。

■目標A

連動する区計画の柱 3 地域の取組で元気カアツ

地域への関心を高め、ボランティア活動や地域の担い手につながる人づくりを進める

■具体的な取組

- 地域で高齢者を対象に家事援助（掃除、洗濯、買い物、除草、樹木剪定、病院送迎等）のボランティアに取り組んでいる「二俣川地区地域ケア 桐の会」のような活動を大切に、継続実施できるような体制を図る。
- 多世代交流を図る機会を作り、食事サービス「はなみずきの会」、子育て地域サロン「ピヨピヨクラブ」など、次世代ボランティアの育成を図る。
- 現在の活動を地区内で広く周知し、協力してくれる人や必要としている人を活動につなげる。
- 地域で子ども会等の活動が継続できるよう、活動支援を行う。



桐の会 植木の手入れ



はなみずきの会 食事風景



ピヨピヨクラブ 親子で体操

■目標B

子ども・高齢者等誰もが立ち寄れる場づくりを進める

■具体的な取組

- 二俣川地域ケアプラザ（仮称）を地域活動の拠点として活用する。
- 地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」と協力し、地域の担い手の発掘につなげる。



ひなたぼっこ ひろばの様子



ひなたぼっこ ランチタイム



ひなたぼっこ 育児講座

■目標C

災害時の要援護者の方への支援体制づくりを進める

■具体的な取組

- 地域住民向けの防災マップを作成し、活用できるよう周知する。
- 要援護者の名簿を確認し、具体的な活用方法について検討する。
- 二俣川地区周辺の地域防災拠点交流会を開催し、拠点間連携を図る。

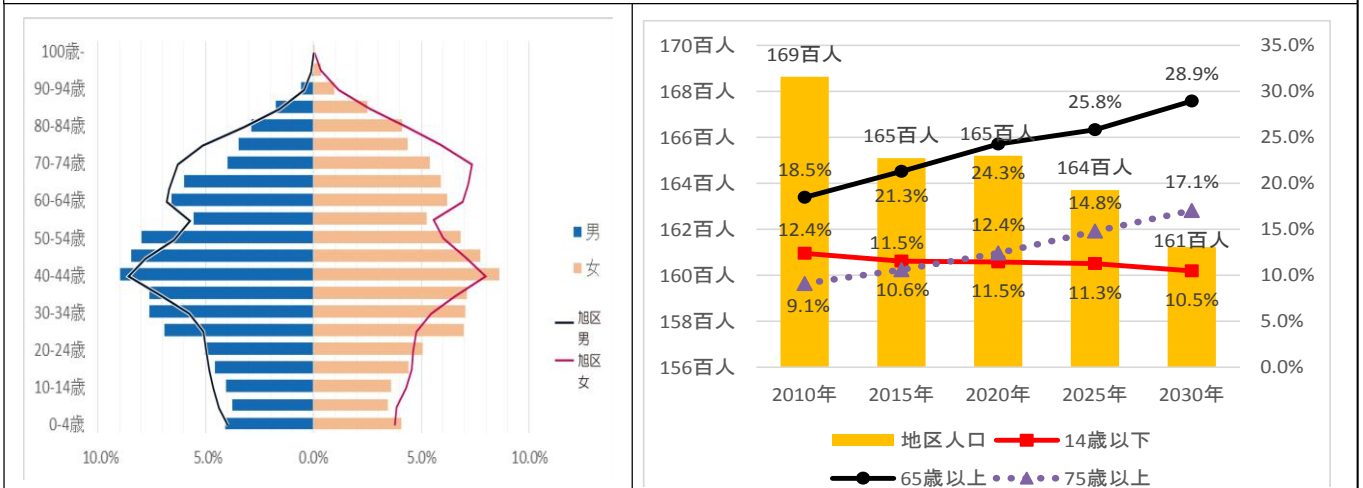


防災マップ 検討会

■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ 25 歳から 54 歳の層の比率が高いが、19 歳以下の層の比率は低くなっています。また、団塊世代の層の比率も低くなっています。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 400 人減少しています。高齢化率は 2.8%増加したが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの 5 年間でほぼ横ばいとなっています。また、世帯人員は 2015 年で 2.08 人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年で約 16500 人、2025 年で約 16400 人と見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 24.3%、2025 年で約 25.8%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



■ 2期計画の振り返り

【地域の交流】

- 健民祭：参加者が少なくなってきた。
- 餅つき：継続していきたいが、主催者側の高齢化が進んでいるので対策を考える必要がある。
- 旭区民スポーツ祭：子どもからお年寄りまで多世代の地域住民が参加し、定着している。
- クリーンキャンペーン：二俣川小学校運営協議会の主催で中学生、小学生が地域の団体等と一緒に清掃活動を行っている。
- 紙ヒコーキ大会：青少年指導員が企画運営し、子ども会がサポート。参加児童の減少傾向が続いている。

【地域の見守り】

- はなみずきの会（食事会）：大変盛況である。メンバーが固定化していて、新しい方が新規に入りにくいことが心配。
- 敬老のお祝い：単位自治会で実施している。
- 二俣川地区地域ケア桐の会（家事援助等ボランティア）：ニーズはあるが、ボランティアが減ってきている。活動しやすい環境づくりが必要。
- ひまわり会（中途障害リハビリ）：月に一度の集まりをととても楽しみにしている人が多い。参加者は減ってきている。

【子育て支援】

- ピヨピヨクラブ（地域子育てサロン）：PRの効果で参加人数が増えてきている。子どもがのびのび走れる場、また、母親同士の社交の場にもなっている。

【健康づくり】

- いきいき体操：ゆるやかに体を動かす体操で健康づくりに非常によい。
- グランドゴルフ大会：レクリエーション協会が道具を持っており、参加しやすい。
- 早朝ラジオ体操：有志で行っている自主的な取組だが、連合の広報にのせてみていいのではないかと。

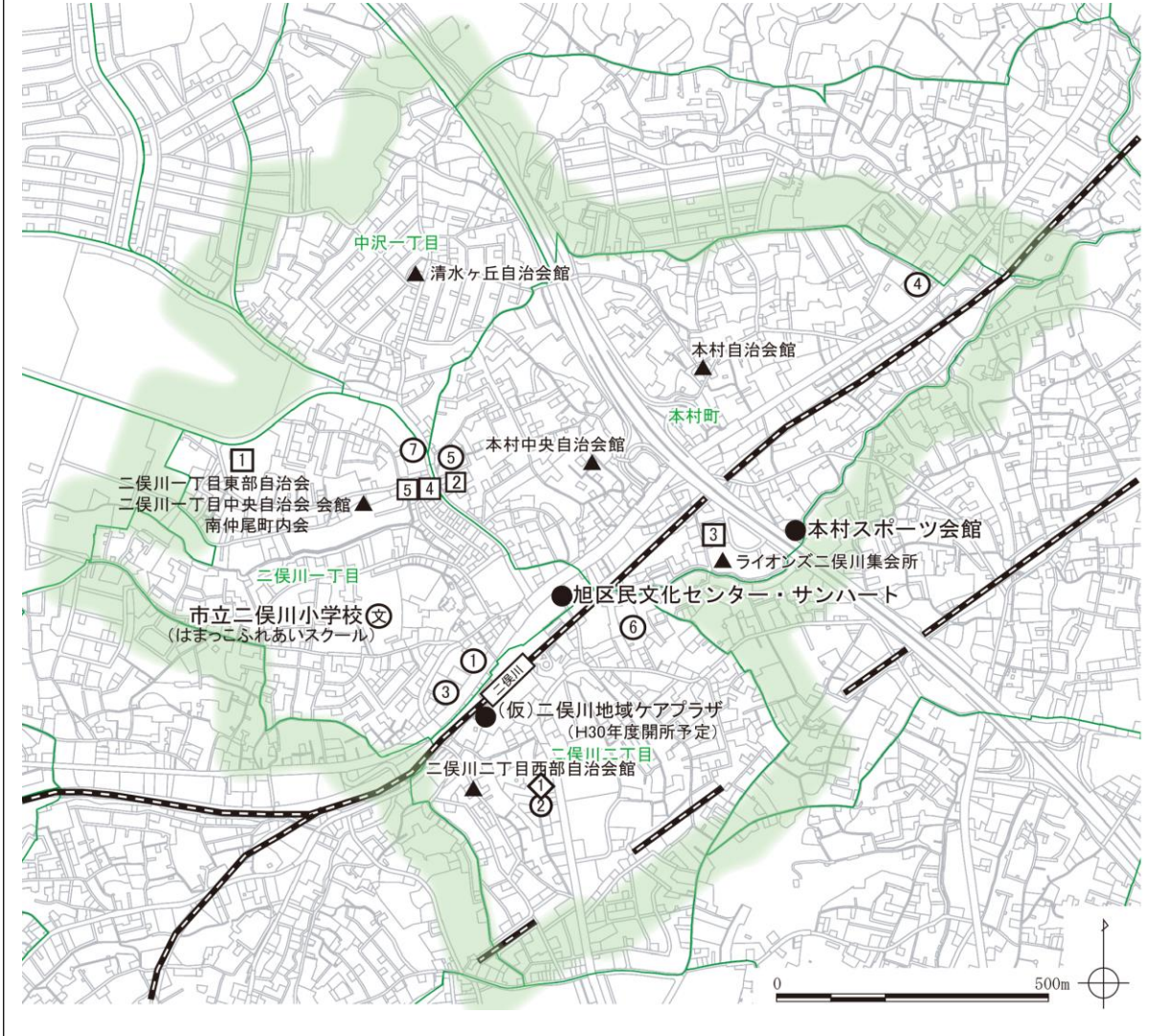
【安全・安心のまちづくり】

- 防犯キャンペーン・青色灯防犯パトロール：特定の人だけでなく順番に関わることで、地域の防犯意識を高めることにもなっている。引き続き実施しながら課題を検討していきたい。

■地区の福祉課題

- ・災害時の要援護者の方への支援体制について課題が残る。
- ・地域防災拠点が地域内に複数存在する為、地域の方がどこに避難すればよいのか、わかりにくい。
- ・「二俣川地区地域ケア 桐の会」（家事援助等ボランティア）の担い手が少ない。
- ・子育て地域サロン「ピヨピヨクラブ」の担い手育成。
- ・食事サービス「はなみずきの会」は参加者の固定化が課題。
- ・活動の場所が不足している。
- ・地域の各活動をもっとPRしていく必要がある。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

子ども	認可保育所	障害者施設
	① 明德二俣川保育園	① 神奈川県ライトセンター
	② 横濱あんじゅ保育園	② くるみの木
	小規模保育事業	障害者地域活動ホーム
	③ 旭ローズ保育園	③ ふたまたがわ
	④ おれんじハウス二俣川保育園	中途障害者地域活動センター
	放課後児童クラブ	④ フェニックス旭
⑤ くれよん	地域活動支援センター(地域作業所)	
幼稚園	⑤ 工房アリアーレ	
⑥ 横浜昭和幼稚園	高齢者	
地域子育て支援拠点	小規模多機能型居宅介護	
⑦ ひなたぼっこ	① コラージュ二俣川	